

公益財団法人久留米文化振興会

2021年度 事業報告書

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月 31日

目次

	Page
I 事業の概要	
(総括)	2
(新型コロナウイルス感染症による本年度事業への影響)	3
II 事業活動	4
《公益目的事業》	5
公1 芸術文化施設等の管理運営事業.....	6～7
公2 芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業.....	8～13
公3 美術館運営事業.....	14～18
《収益事業》	19～20
収1 ホール運営事業及び会場利用者サービス事業	
収2 売店・喫茶事業	
収3 久留米市等公共団体からのイベント受託事業	
収4 久留米市の公共施設の指定管理事業	
収5 駐車場管理運営事業	
《事務局事業》	20
III 処務の概況	21～23
1 役員に関する事項	
2 会議に関する事項	
3 許可・認可・承認に関する事項	
4 届出・申請等に関する事項	
5 組織に関する事項	
IV 附属明細書	23

I 事業の概要

(総括)

当財団が管理運営する石橋文化センターは、株式会社ブリヂストンの創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」と地域の発展を願い、1956年に建設、久留米市に寄贈された文化施設です。

石橋文化センターには、美術館、ホール、日本庭園等があり、文化芸術活動への参加のみならず、四季折々の花に溢れた庭園の散策にも多くの方が訪れます。

2021年度は、新たに策定した久留米文化振興会基本計画(2021年度～2025年度)に基づき、石橋文化センターの「美術館」、「ホール」、「庭園」の3つの機能に更に磨きをかけることにより、文化芸術と観光の両面から更なる地域社会の貢献を目指しました。しかしながら、2019年度末から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により2021年度も施設の臨時休館や事業の中止を余儀なくされました。

そのような中、文化庁の助成事業を活用し、新たにオンライン配信に取り組み、コロナ禍においても無観客での演奏機会の提供や、オンラインにより文化芸術を楽しめる環境を整備するなど、ウィズコロナへの対応を図りました。公式 Youtube チャンネルでは、久留米市美術館コレクション作品の紹介やバラの植え方・育て方講座等を配信しました。

石橋文化センターの中心施設である美術館は久留米市美術館として新たにスタートしてから5周年を迎えました。記念事業として公益財団法人石橋財団特別助成「九州洋画Ⅱ 大地の力-Black Spirytus」を9月18日から12月12日まで開催しました。展覧会に併せてホールや園内で連動事業を開催し入館促進を図るなど、石橋文化センターを一つのミュージアムと捉えた活動に取り組みました。

本年度、久留米市美術館は、公益財団法人石橋財団により美術館搬出入口を整備し、久留米市に寄贈されることとなり、「九州洋画Ⅱ」終了後、2022年度にかけて工事が進められています。工事に伴う美術館休館中は、石橋正二郎記念館を活用したイベントを企画し、記念館来館者の増加に努めました。

以上のように、2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、コロナ禍におけるオンラインの活用など新たな事業に取り組み、楽しみと幸福の時間を提供しました。

(新型コロナウイルス感染症による本年度事業への影響)

1. 催事の中止

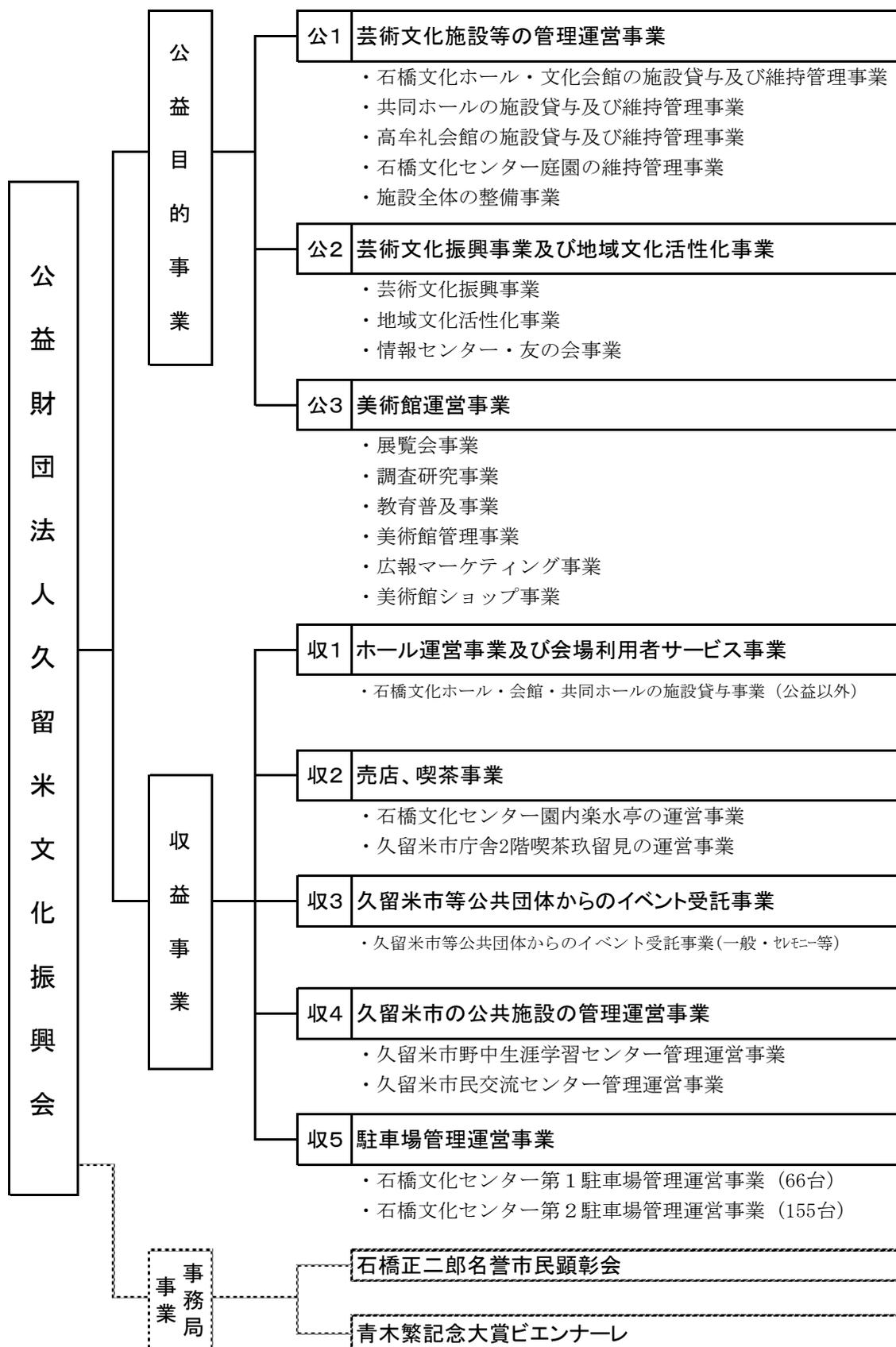
催 事	対 応	区分
石橋正二郎記念館 第15期 石橋正二郎と九州洋画1 会期: 4月17日(土)~9月12日(日)	6月15日(火)から6月20日(日)まで臨時休館し、6月22日(火)から再開しました。 8月31日(火)から9月12日(日)まで臨時休館し、その後展示替え休館をはさみ、9月18日(火)から再開しました。	公3
春のバラめぐり 4月29日(木・祝)~5月23日(日)	春のバラフェア 2021 は開催せず、春の園内の魅力づくり事業~春のバラめぐり~として開催しました。 体験コーナーやコンサートは中止しましたが、バラ苗は4月24日(土)から(プレ販売)、5月30日(日)まで販売しました。 またポーの一族展に関連して作品に登場する品種クリムソン・グローリーをPRしました。	公2
くるめ音楽祭 2021	吹奏楽祭(2021年9月12日(日))、合唱祭(2021年9月19日(日))、アンサンブル・フェスティバル(2021年9月23日(木祝))を予定していましたが、中止しました。	公2

2. 施設の休業

施 設	対 応	区分
石橋文化ホール 石橋文化会館 共同ホール 高牟礼会館	ホール及び会議室等は5月12日(水)から5月31日(日)まで、8月10日(火)から9月30日(木)まで臨時休館し、利用予定の主催者と利用日変更等の調整を行いました。	公1
久留米市野中生涯学習センター 久留米市民交流センター	同上	収4
楽水亭	6月15日から6月20日まで、8月10日から9月16日まで臨時休業しました。	

II. 事業活動

【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



《公益目的事業》

公益財団法人久留米文化振興会は、芸術文化の振興と地域文化の活性化を図ることにより、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与することを目的としています。

昨年度同様、新型コロナウイルス感染症による施設の臨時休館、事業の中止などの影響がありましたが、入場制限などの対策を講じながら石橋文化センター及び園内の各施設を中心に事業を実施しました。

【石橋文化センター入園者及び主要施設の利用状況】

	当年度	前年度	対前年度
石橋文化センター入園者数（人）	305,370	290,810	14,560
久留米市美術館 主催展覧会入館者数（人）	33,394	39,096	▲5,702
石橋正二郎記念館入館者数（人）	15,939	11,192	4,747
石橋文化ホール入場者数（人）	29,617	21,687	7,930
石橋文化会館入場者数（人）	17,934	16,975	959
共同ホール入場者数（人）	21,732	14,350	7,382

*新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館など

〔石橋正二郎記念館〕	6月14日(月)～6月20日(日) 臨時休館 8月30日(月)～9月12日(日) 臨時休館
〔石橋文化ホール、文化会館、共同ホール〕	5月12日(水)～5月31日(日) 臨時休館 8月10日(火)～9月30日(木) 臨時休館

【石橋文化センター入園者等の月別推移】

	入園者数（人）			展覧会入館者数（人）		
	当年度	前年度	対前年度	当年度	前年度	対前年度
4月	35,944	18,981	16,963	5,304	0	5,304
5月	30,175	25,988	4,187	3,890	1,051	2,839
6月	21,282	18,235	3,047	4,420	1,866	2,554
7月	18,333	18,562	▲229	2,575	3,279	▲704
8月	16,564	20,364	▲3,800	3,560	5,662	▲2,102
9月	17,966	18,859	▲893	1,169	2,333	▲1,164
10月	31,478	30,682	796	2,993	3,525	▲532
11月	45,211	41,971	3,240	5,948	5,097	851
12月	28,473	24,314	4,159	3,535	1,546	1,989
1月	16,590	18,668	▲2,078	-	1,922	▲1,922
2月	17,902	23,993	▲6,091	-	4,582	▲4,582
3月	25,452	30,193	▲4,741	-	8,233	▲8,233
合計	305,370	290,810	14,560	33,394	39,096	▲5,702

*美術館は搬出入口等整備工事のため12月13日(月)から休館

公 1	芸術文化施設等の管理運営事業
-----	----------------

石橋文化センター諸施設並びに高牟礼会館の施設貸与及び維持管理事業を行うことにより、芸術文化の振興と地域文化の活性化に取り組みました。

公 1— I 施設の貸与事業

1. 石橋文化ホール・文化会館、共同ホール

【施設貸与状況】

*新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館など

臨時休館… 5月12日(水)～6月20日(日)

8月10日(火)～9月30日(木)

時間短縮… 5月6日(木)～5月11日(火)

(20時まで) 6月21日(月)～7月11日(日)

8月2日(月)～8月9日(火)

施設		開館日数	利用日数	利用率(%)	利用者数(人)	
石橋文化ホール		当年度	231	123	53.2	29,617
		前年度	243	109	44.9	21,687
石橋文化会館	小ホール	当年度	231	121	52.4	6,131
		前年度	243	107	44.0	6,035
	会議室・研修室	当年度	1,155	569	49.3	9,952
		前年度	1,295	508	39.2	8,501
	市民ギャラリー	当年度	231	123	53.2	1,851
		前年度	258	90	34.9	2,439
小 計				当年度	47,551	
				前年度	38,662	
共同ホール		当年度	231	97	42.0	15,218
		前年度	243	66	27.2	9,579
研修棟		当年度	1,386	492	35.5	6,514
		前年度	1,552	430	27.7	4,771
小 計				当年度	21,732	
				前年度	14,357	
合 計				当年度	69,283	
				前年度	53,012	

*久留米市立中央図書館が10月1日から空調設備の更新や館内の改装工事に伴い休館したことを受け、空き状況を見ながら石橋文化会館内施設を自習室として開放。

【利用促進事業】

事業		実施回数など
ちょっと気軽にスタインウェイ (石橋文化ホール)	当年度	18 回実施 185 人利用
	前年度	29 回実施 304 人利用
ちょっと気軽にカワイ EX (共同ホール)	当年度	18 回実施 170 人利用
	前年度	21 回実施 241 人利用
ちょっと気軽に YAMAHA S6 (新規事業)	当年度	10 回実施 91 人利用
ちょっと気軽にピアノ発表会 (小ホール)	当年度	10 回利用
	前年度	5 回利用

事業			実施回数など
練習利用	石橋文化ホール	当年度	0 件
		前年度	4 件
	リハーサル室	当年度	0 件
		前年度	2 件
	小ホール	当年度	12 件
		前年度	14 件

2. 高牟礼会館

【施設貸与状況】

年度	件数	利用人数	利用者作品展
当年度	1,013 件	10,118 人	0 回
前年度	1,061 件	10,830 人	0 回

公 1—II 施設の維持管理

1. 庭園管理

美術館前バラ園 16 ブロックのうち 2 ブロック分の 2 品種・約 120 株を植え替え、更に 2022 年度バラフェアのテーマ「未来」にあわせて、前向きな思いが込められた名前のバラ 12 品種・36 株を新たに植栽しました。

2. 施設整備事業

(1) 施設の機能維持や安全性確保のために実施した事業

石橋文化ホール音響マイク等修繕、石橋文化センター非常用発電機更新修繕
石橋文化会館市民ギャラリー倉庫修繕など
園内東側屋外トイレ改修 (洋式化)

(2) 感染症対策事業

石橋文化ホール映像配信用 LAN 回線敷設
石橋文化会館等 Wi-Fi 環境整備

公2	芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業
----	---------------------

新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得ない事業もありましたが、人数制限などの感染症対策を講じ、できる限り事業を実施しました。また、映像配信などの新たな取り組みも行いました。

公2-I 芸術文化振興事業

1. 優れた芸術文化公演等の鑑賞事業

事業名	開催日・会場・料金	入場者数
NAOTO×沖仁 with 榊原大アコースティックライブ	2021年11月3日(水・祝) 石橋文化ホール 3,000円	406人
宝くじまちの音楽会 「岩崎宏美 with 宗次郎 ～心のふるさとを求めて～」	2022年1月30日(日) 石橋文化ホール 2,000円	411人 ※50%制限
ドラゴンクエストコンサート 交響組曲ドラゴンクエストIX 星空の守り人	2022年3月6日(日) 石橋文化ホール 5,000円	505人 ※50%制限

2. 市民の文化活動の支援や地域文化団体の育成事業

事業名	開催日・会場・料金	入場者数
第32回くるめ新人演奏会	2021年5月30日(日) 石橋文化ホール 1,000円	中止
くるめ音楽祭2021	石橋文化ホール 入場無料(要整理券)	
吹奏楽祭	2021年9月12日(日)	中止
合唱祭	2021年9月19日(日)	中止
アンサンブル・フェスティバル	2021年9月23日(木・祝)	中止
第50回市民ブラス・コンサート 2022ニューイヤー・バンド・フェスティバル ※後日、映像配信	2022年1月9日(日) 石橋文化ホール 入場無料(要整理券)	158人 (関係者のみ)

3. 石橋文化センターミュージアム化事業

(1) ミュージアムコンサート

市民に優れた演奏を気軽に楽しめる機会を提供するコンサート。コンサートチケットで展覧会も鑑賞できる。

入場料：一般 1,000 円

会 場：石橋文化ホール

事業名・開催日・内容		入場者数	うち美術館 入館者数
① 4月25日(日) ※開園記念日ミュージアムコンサート ※入場無料(要整理券)	ピアノ	377人	無料入館日
② 8月12日(木)	チェロ、チェロ、ピアノ	195人	55人
③ 10月27日(水)	マンドリン、ピアノ	221人	71人
④ 11月23日(火祝)	ピアノ、ヴァイオリン、ベース	227人	74人
⑤ 1月23日(日)	サクソ、ソプラノ 他	中止	中止
合 計		1,020人	200人

(2) 久留米市美術館開館5周年記念 石橋文化センターアートフェスティバル

2016年11月の久留米市美術館開館を機に、美術館のコンセプトである「石橋文化センターを一つのミュージアムと捉えた活動」として取り組んでいる事業です。

開催日：10月30日(土)～11月21日(日)

会 場：石橋文化センター園内各所

期間中入園者：43,000人

① 子どもたちとアーティストによるアート創造プロジェクト

「スイレンでカラフル空間を作ろう」(オブジェ展示)

地元アーティストと市内の小学生15名が、8月に4日間にわたるワークショップを実施し、アート作品の創作に取り組みました。フェスティバル期間中は、園内の夏の花「スイレン」をテーマに、園内に作品を展示しました。

《参加アーティスト》宇美拓哉(洋画家)、中園唯(染織家)、吉本暢子(デザイナー)

② アーティストを志す大学生等の創作活動支援プロジェクト

美術系大学生が、7月から10月にかけて、大学ごとに特色のある作品を制作し、フェスティバル期間中は作品を屋外に展示しました。

《参加大学》

九州産業大学 芸術学部 「I 'm here」(写真展示)

佐賀大学 芸術地域デザイン学部 「森の中の水族館」(園内インスタレーション)

③ 園内ライトアップと光のアート

開催日：期間中の金・土・日・祝 11日間

入園者：2,780人

④市民創作体験プロジェクト「門で 木を 大地に」(大型木工作品)

台風で倒木した石橋文化センターのケヤキで、装飾古墳の文様に着想を得て作品を制作し、園内に展示しました。

ワークショップ開催日：11月3日(水・祝)

ワークショップ参加者：延べ70人

⑤久留米市美術館開館5周年記念特別作品「うっしえ」(映像作品)

アートプロジェクト参加アーティストが描く石橋文化センターの風景画を記録し、それが描かれた場所で映像作品を展示しました。

(3) ミュージアムクリスマス

園内のライトアップとイルミネーションにより、市民に「楽しみと幸福の時間」を提供しました。今回は、「大切な人とゆっくり過ごす」をテーマに、アーティストと「みんなで作る」参加型のクリスマスイベントも実施しました。

① ライトアップ&イルミネーション

開催日：12月10日(金)～12月25日(土) 金・土・日 17時～20時 延べ8日

来場者：2,831人

② クリスマスコンサート

開催日・入場者：12月11日(土)80人、25日(土)60人

会場：石橋正二郎記念館

③ クリスマスワークショップ

GOGO Merry go round モバイルスマイルクリスマス

～楽しみがクルクルと回り、スマイルをお家に～

開催日：12月19日(日)

参加者数：33人

(4) フラワー&イルミネーションバレンタイン2022

バレンタインデーに合わせて、色とりどりの花やイルミネーションで園内を彩り、寒い季節に暖かさを感じられるようにイベントを開催しました。

① バレンタインイルミネーション

開催日：1月29日(土)～2月13日(日)の金、土、日、祝日 日没～20時

期間中入園者：1,309人

② バレンタインコンサート

期間：2月11日(金・祝)

会場：楽水亭南側・楽水の池前

入場者：1回目150人、2回目180人

③ 花あふれるプロジェクト in 久留米

期間：2月4日(金)～9日(水)

会場：石橋正二郎記念館ピロティ

その他、2月12日(土)・13日(日)にフラワーバレンタインを開催。

4. 次代を担う世代とともに行う振興事業～未来への種をまく事業～

(1) 石橋文化センタースケッチ大会

開催日：4月25日（日）10:00～16:00

場所：石橋文化センター園内

参加人数：160名

(2) 学校への芸術家等派遣事業（久留米市からの受託事業）

学校と芸術家との協働で、子どもが文化芸術体験を通じて学び、表現できる環境を整える目的として、市内の小学校17校でワークショップを実施しました。

ジャンル	学校数	参加生徒数	備考
演劇	1校	84人	
水墨画	1校	77名	
狂言	8校	647人	
能	3校	152人	
馬頭琴	4校	287人	※5校中止
合計	17校	1,247人	

公2—II 地域文化活性化事業

1. 石橋文化センター園内の花や美術館を活用した市民参加の事業

(1) 7つの花めぐり

石橋文化センターの庭園を活用し、季節を捉えた「ななつの花めぐり」のイベントは、久留米市のイベント自粛の方針により10月以降に実施しました。

事業名	開催日	期間中入園者数
① 春のバラめぐり (春のバラフェアの代替事業)	4月29日（木・祝） ～5月23日（日）	26,737人
② あじさい・はなしょうぶまつり	開催中止	
③ 秋の園内魅力づくり事業 (秋のバラフェア、もみじまつり)	10月16日 ～12月5日	72,479人
④ 春の花まつり事業 (梅まつり、つばきまつり、SAKURA・ チューリップまつり)	2月5日（土） ～4月10日（日）	51,453人

(2) 坂本繁二郎旧アトリエ特別公開

園内の事業に合わせて坂本繁二郎旧アトリエを公開しました。対面でのアトリエトークは行わず、11月の公開時にはトーク動画をアトリエ内で上映しました。

事業名	開催日	入場者数
春の花めぐり	4月4日（日）	71人
秋のバラフェア	11月3日（水・祝）、6日（土）、7日（日）	573人
もみじまつり	11月20日（土）、21日（日）	233人
合計		6日間 877人

(3) ガーデンテラスコンサート

開館 5 周年記念事業としてガーデンテラスで気軽な野外コンサートを開催しました。

開演 18 時（美術館を延長開館し 17 時以降は無料入館）

開催日	内 容	入場者数（美術館入館）
10 月 2 日（土）	オーボエ、ピアノ	180 人（56 人）
3 日（日）	サクソ、ピアノ	200 人（55 人）

(4) くるめぐるフェスタ

近隣 5 施設（石橋文化センター、久留米市美術館、福岡県青少年科学館、くるめウス久留米市鳥類センター）で連携し各施設を巡るスタンプラリーを実施しました。昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、共同で実施する「くるめぐるフェスタ」は中止としました。

2. 久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業

（久留米市からの受託事業）

(1) くるめ街かど音楽祭（第 9 回） 中止

(2) くるめライブチャレンジ 2021～無観客オンライン開催～

① 12 月 18 日（土）開催分

会場：文化センター 共同ホール

出場：10 組

視聴回数：1,439 回（2022 年 3 月 31 日時点）

②2022 年 1 月 23 日（日）開催分

会場：文化センター 共同ホール

出場：10 組

視聴回数：1,298 回（2022 年 3 月 31 日時点）

(3) くるめライブチャレンジ 2021 ベストパフォーマー大会

無観客・オンライン開催

実施日：2022 年 2 月 27 日（日）

会場：文化センター 共同ホール

出場：6 組

審査結果：年間チャンピオン（最優秀賞） さいとう ゆい

審査員特別賞 ハルレイ

特別パフォーマンス賞 DELI-ZONE

視聴回数：1,897 回（2022 年 3 月 31 日時点）

公 2—Ⅲ 情報センター友の会事業

1. 情報誌の発行・ホームページ・フェイスブックの運営

情報誌「みどりのリズム」を毎月発行（12,000 部）した他、ホームページを一部リニューアルしました。

2. 友の会事業

ミュージアム会員（美術館年間フリーパス）を含む制度にリニューアルし 5 年目を迎えました。12 月からは美術館が休館になりましたが、会員期間を延長や会費を変更する対策などを講じ、会員数の維持に努めました。

(1) 会員の状況 ※2021年度会員有効期間は2022年10月28日まで

区 分	新規	継続	合 計 (前年度)
ミュージアム会員	35 人	322 人	357 人 (340 人)
スタンダード会員	9 人	61 人	70 人 (70 人)
合 計	44 人	383 人	427 人 (410 人)

(2) 友の会会員事業

事 業 名	開催日・会場・料金	参加者 (視聴) 数
楽しむ講座シリーズ		
ポーの一族 展 (オンライン配信)	6 月 10 日 (木) ~ 13 日 (日)	視聴回数 308 回
南薫造 展	8 月 5 日 (木)	30 人
九州洋画Ⅱ 大地の力 展	11 月 9 日 (火)	30 人
	計	60 人・308 回

上記講座の会場はすべて石橋文化ホール (オンライン配信除く)

料金：ミュージアム会員無料、スタンダード会員 500 円、一般 1,000 円

3. 石橋文化センター情報サテライト

「石橋文化センター情報サテライト」は、2018年4月に久留米シティプラザ2階総合受付正面に開設し4年目を迎えました。

情報サテライトでは、石橋文化センターや久留米市美術館、その他文化情報の発信の他、石橋文化センターや久留米シティプラザで開催するコンサートチケットも販売し、市民の利便性向上を図りました。また、2月からキャッシュレス決済を導入し、接触機会を減らし、感染防止対策を講じました。

公3	美術館運営事業
----	---------

久留米市の「新たな美術館の基本方針」に基づき、市民をはじめ多くの方々に親しまれる美術館となることを目指し、指定管理者として久留米市美術館の管理運営を行いました。

1. 展覧会事業

美術館は検温、連絡先の把握などの感染拡大防止対策を継続し展覧会を順次開催しました。「開館5周年記念 九州洋画Ⅱ：大地の力」では佐賀県立美術館・福岡県立美術館とチケット半券による相互割引を実施しました。美術館本館の工事休館中には、石橋正二郎記念館の展示を軸としてイベントを展開する「ペリかんくらぶ」を実施しました。

会場	展覧会	会期	一般料金	入館者数 (1日平均)
本館 2階	生誕130年記念 高島野十郎展 ※3月28日までの会期を延長	2021年1月20日(水) ～4月4日(日) (65日間:2020年度61日間/ 2021年度4日間)	1,000円	4/1～4/4 2,485人 (621人) 全会期 17,222人 (265人)
	デビュー50周年記念 萩尾望都 ポーの一族展	4月17日(土) ～6月13日(日) (51日間)	800円	11,129人 (218人)
	没後70年 南薫造	7月3日(土) ～8月29日(日) (50日間) ※8/14(土)大雨により臨時休館	1,000円	6,135人 (123人)
	公益財団法人石橋財団特別助成 開館5周年記念 九州洋画Ⅱ 大地の力-Black Spirytus	9月18日(土) ～12月12日(日) (75日間)	1,000円	13,645人 (182人)
2021年度合計(180日間)				33,394人 (186人)

2. 石橋正二郎記念館の運営

美術館本館の「萩尾望都 ポーの一族展」から「開館5周年記念 九州洋画Ⅱ：大地の力」までの展示替え期間に2度、新型コロナ感染拡大防止のため記念館は休館しました。美術館本館が工事休館中の2022年1月からは、記念館展示を軸とした一連の催事を「ペリかんくらぶ」と名付け、検温、連絡先の把握などの感染拡大防止対策を講じながら行いました。「ペリかんくらぶ」の名称は、当センターのペリカン噴水に由来するもの。

期	展示テーマ	会 期	入館者数 (1日平均)
第14期	正二郎と松田諦晶 ※3月28日までの会期 を延長	2021年1月20(水)～4月11日(日) (71日間:2020年度61日間/2021年度10日間)	※4/1～ 492人 (49人)
第15期	正二郎と九州洋画1	4月17日(土)～9月12日(日)予定 —(129日間)→(111日間) ※8/14(土)大雨により臨時休館。また、新型コロナ感染 拡大防止のため、6/22～7/2及び8/31～9/12は休館。	5,287人 (48人)
第16期	正二郎と九州洋画2	9月18日(土)～12月26日(日) (87日間)	7,286人 (84人)
第17期	ぺりかんくらぶ(その1) 岡田三郎助と辻永	2022年1月22日(土)～4月17日(日) (75日間:2021年度60日間/2022年度15日間)	2,874人 (48人) ※3/31迄
2021年度合計(268日間)			15,939人 (59人)

3. 調査研究事業

(1) 作品収集、保存・修復のための調査研究

①久留米市美術品収集委員会で審議する候補作品の選定

「久留米市美術品収集方針」に沿った作品を収集候補作品リストとして久留米市に提出しました。また、これまで久留米市美術品収集委員会で審議を経て購入及び寄贈を受入れた作品については写真撮影、状態調査に基づいた画面および額の修復・改善を行い、収蔵庫内にて保管しました。2020年度の新収蔵品について、「年報」で報告しました。

②展示・保管環境の管理

久留米市所蔵品及び石橋財団や個人から寄託中の作品の保全のため、万全の管理を心がけています。2021年度は特に東京国立近代美術館等から作品を借用した「九州洋画Ⅱ：大地の力展」などで、美術館の展示環境に問題がないよう、作品の搬出入口や空調、温湿度等の管理を徹底しました。

③収蔵作品の公開

収蔵品のデータベースを作成し、ホームページ上で所蔵品検索ができるようにしました。

(2) 作家・作品及び展覧会企画のための調査研究

2021年度に開催した展覧会において取り上げる作家・作品やその関連について調査研究し、その成果を展示に反映するとともに図録等で発表しました。「萩尾望都 ポーの一族展」では漫画家を地域作家と捉えた調査活動で、巡回展ながら当館のみの貴重資料を追加展示し、「九州洋画Ⅱ：大地の力展」は地域美術研究の事例として、会期後に全国美術館会議において報告発表を行いました。

また、展覧会や所蔵作品に関する研究報告を次項(3)の「年報」で発表する他、次年度以降の展覧会企画の実施に向けての調査研究を行いました。

(3) 久留米市美術館年報4(2020.4-2021.3)の刊行

久留米市美術館の2020年度活動報告をまとめた年報を刊行しました。

4. 教育普及事業

(1) 展覧会に関する美術講座等の開催

①展覧会関連美術講座・ギャラリートーク等 ※みゅ〜ず講座は除く

3本の展覧会では外部講師を招いた講座・トークイベントを事前申込制で人数を制限し開催しました。「萩尾望都 ポーの一族展」のトークイベントは日程を変更し、さらに対面から録画映像のオンライン公開に切り替えて実施しました。「九州洋画Ⅱ：大地の力」では、感染症対策を講じながら美術講座3回と延長開館日17時以降のギャラリートーク1回を追加実施しました。また、福岡県立美術館主催の出張講座等に参加しました。

石橋正二郎記念「ペリかんくらぶ」ではギャラリートークを復活し、事前に告知して実施しました。

講座名（講師名）	開催日	参加者数
1 「萩尾望都 ポーの一族展」 関連		
① トークイベント「今よみかえす『ポーの一族』」 （橋本博氏/合志マンガミュージアム館長、原田誠一氏 /コレクター・研究者） *You Tube 限定公開	6月12日(土) 14:00~16:30	283 回視聴
2 「没後70年 南薫造展」 関連		
① 美術講座「色彩画家・南薫造の生涯と芸術」 （藤崎綾氏/広島県立美術館）	7月31日(土)	65人
3 「九州洋画Ⅱ：大地の力」 関連		
① トークイベント「行くか戻るかとどまるか～それぞれの 上京物語」（菅章氏/大分市美術館長、林田龍太氏/ 熊本県立美術館学芸課参事、森山秀子/当館副館長）	10月23日(土)	76人
② 美術講座1 「洋画家誕生物語」（森山秀子） 同2 「青木繁と和田英作」（佐々木奈美子） 同3 「山を描く、土を描く」（森智志）	10月10日(日) 11月14日(日) 11月27日(土)	24人 39人 20人
③ 出張講座（文化の日特別講演）「近代洋画と九州、 そして福岡」（高山百合氏/福岡県立美術館学芸員、 佐々木奈美子/当館学芸員） 会場：九州国立博物館	11月3日 (水・祝)	(57人)
④ ギャラリートーク1回	11月19日(金)	20人
⑤ 全国美術館会議・学芸員研修会での報告発表 *オンライン配信 会場：三重県立美術館	2022年 3月10日(木)	-
4 「ペリかんくらぶ(その1)」 関連		
① 美術講座「岡田三郎助と辻永」 （森山秀子/当館副館長）	2022年 1月29日(土)	17人
② 連続講座「正二郎とコレクション」 1 「コレクションことはじめ」（森山秀子） 2 「コレクションの西洋近代絵画」（佐々木奈美子） 3 「コレクションの日本近代洋画」（森智志）	2022年 2月12日(土) 2月26日(土) 3月5日(土)	14人 24人 28人
③ ギャラリートーク4回	第1・3日曜	51人
合計（主催事業のみ）	対面事業参加者数（14回） オンライン視聴回数（1回）	378人 283回

② 展覧会関連ワークショップ等

感染拡大防止の観点から、3本の展覧会では夏休みに重なる「南薫造展」の会期中のみ、自宅で制作ができるキットを受付で配布する形式で実施しました。美術館休館中の「ペリかんくらぶ」では、道具類のこまめな消毒など、十分な対策を講じた上で対面式のワークショップと、完全オンラインのワークショップを行いました。また、会期中、自宅で制作が可能な工作キットをミュージアムショップで販売しました。

事業名（外部講師名）	開催日	参加者数
1 「没後 70 年 南薫造」 関連		
ワークショップ「ダンボールでフレーム作り」 ：南薫造の作品に合うフレームを作ろう	7月3日(土) -8月29日(木)	101人
2 「ペリかんくらぶ(その1)」 関連		
① 走りきったタイヤでキーホルダー作り ：タイヤチューブを使用してキーホルダーを作ろう	2月23日(水・祝)	91人
② オンライン「花いっぱい 春の折紙教室」 (川村みゆき氏/折紙作家・日本折紙協会評議員) プチブーケを作ろう ミュキローズに挑戦	3月21日(月・祝) 10:30-11:30 14:00-15:00	接続 参加 28 32人 45 53人
合計	対面 2 事業・参加者数 オンライン 1 事業・接続数	192人 73人

③ その他

- ・「萩尾望都 ポーの一族」展読書コーナーの設置

合志マンガミュージアムの協力で萩尾望都の漫画本を借用し、会期中、石橋正二郎記念館1階ロビーで自由に読めるように配架しました。利用者数はのべ100名。

- ・ワークシートの配布

「没後 70 年 南薫造」展、「開館 5 周年記念 九州洋画Ⅱ：大地の力」開催時、展覧会と石橋正二郎記念館、そして園内をまわれるワークシートを制作し、参加記念として小中学生にはオリジナル鉛筆を配布しました。

(2) 美術館ボランティア事業

2021年度ボランティア登録者数 40人（前年度41人）

①美術館ボランティア研修

	内容	開催日
1	「萩尾望都 ポーの一族展」概要研修	4月3日(土)
2	「没後 70 年 南薫造展」概要研修 対面研修 オンライン研修(You Tube 限定配信)	7月17日(土) 7月24日(土)～25日(日)
3	「九州洋画Ⅱ：大地の力」概要研修 オンライン研修(You Tube 限定配信)	9月9日(木)～9月11日(土)

②活動

学校団体受入などで活動しました。秋以降に集中したことから、密を避けるために月曜日にも受け入れを行いました。

坂本繁二郎旧アトリエ公開時には、ボランティアによるアトリエトーク動画を撮影し、約12分間に編集してアトリエ内で流しました。

*ギャラリートーク、ワークショップに関わる活動は実施せず。

(3) 学校団体見学等 (大学生以下) ※入館者数には引率者を含む

区分	件数 (前年度)	入館者数 (前年度)
小学校	3件 (3件)	195人 (130人)
中学校	17件 (1件)	2,360人 (4人)
高校等	2件 (9件)	169人 (341人)
大学等	6件 (7件)	103人 (178人)
その他	3件 (2件)	69人 (25人)
合計	31件 (22件)	2,896人 (678人)

・上記のうち、市内中学校団体受入 14校

5. 美術館管理事業

- ・作品鑑賞にふさわしい空間のための建物、空調設備などの維持管理
- ・1階展示室貸与事業 (前年度)
西部示現会等 10件 (6件)、延べ貸出日数 66日 (35件)、
入場者数 6,925人 (3,490人)

6. 広報マーケティング事業

美術館及び美術館活動に関する情報発信

- ・ポスター、チラシ等印刷物や広報くるめ、みどりのリズム等情報誌、ホームページ、フェイスブック、ツイッター等 Web 媒体等による情報発信
- ・マスメディア等による展覧会広報
- ・園内事業と連携した広告掲出
- ・百貨店や西鉄福岡 (天神)、花畑駅との広報連携

7. 美術館ショップ事業

- ・展覧会の図録、関連書籍、画材、文具等の販売
- ・絵はがきや作品を配したオリジナル商品の販売・製作
- ・楽水亭との展覧会関連商品販売等の連携

8. 協賛制度

「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」や園内の環境整備等に資する目的で企業・団体・学校からの支援を募りました。

区分	企業・団体数 (前年度)
スペシャルパートナー	1件 (1件)
オフィシャルパートナー	5件 (6件)
キャンパスパートナー	1件 (1件)
一般協賛	40件 (35件)

《収益事業》

収 1 ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

石橋文化ホール・文化会館並びに共同ホールの施設貸与において、看板、花、ピアノ調律などを受注し、利用者サービスに努めました。

収 2 売店・喫茶事業

1. カフェ&ギャラリーショップ楽水亭

感染拡大防止に努めながら、展覧会にちなんだカフェメニューの提供等を行い、売上の確保に努めました。

ただし、新型コロナウイルスの影響により、6月15日から6月20日まで、8月10日から9月16日まで臨時休業しました。

2. 喫茶玖留見（久留米市庁舎2階）

感染拡大防止に努めながら、月替わりのフェアメニューや、パンの販売といった収益確保に取り組みました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による売店喫茶部門全体の収支改善を図るため、赤字が続いている喫茶玖留見を2022年3月末に閉店しました。

収 3 久留米市等公共団体からのイベント受託事業

当財団の有するノウハウを発揮し、久留米市から次の事業を受託しました。

- ・アンネのバラ管理・鉢上げ業務
- ・西鉄観光列車連携事業業務（西鉄花畑駅・福岡天神駅花壇設置等）
- ・久留米市-合肥市友好都市締結40周年記念事業

収 4 久留米市の公共施設の管理運営事業

1. 久留米市野中生涯学習センター

久留米市民が生涯にわたって学習する環境を整備し、生涯学習の振興及び普及を図るため設置された久留米市野中生涯学習センターを指定管理者として、管理運営を行いました。

(1) 施設貸与状況

	利用可能 日数（日）	利用率 （%）	利用者数 （人）	内 訳（人）	
				登録団体利用者数	一般利用者数
当年度	239	58.8	35,750	24,549	11,201
前年度	275	53.6	34,611	26,230	8,381

(2) 自主事業の実施状況 （ ）内は前年度

- ①高齢者事業 3本 13回 延べ 238人 （2本 8回 延べ 138人）
- ②成人事業 2本 2回 延べ 39人 （1本 1回 延べ 24人）
- ③家庭教育事業 2本 2回 延べ 60人 （1本 1回 延べ 9人）

④青少年体験事業 2本 4回 延べ 266人(新型コロナウイルスのため中止)

⑤地域交流事業 3本 4回 延べ 521人(新型コロナウイルスのため中止)

※新型コロナウイルス感染防止措置の影響により自主事業の実施が減少しました。

2. 久留米市民交流センター(久留米市庁舎内)

2019年度から5年間の新たな指定管理期間の3年目。指定管理者として、市庁舎内3階会議室及びくろみホールの管理運営を行いました。

(1) 施設貸与状況

	利用可能日数(日)	利用(%)	利用者数(人)
当年度	347	100.0	113,141
前年度	347	78.0	38,023

(2) 自主事業の実施状況

新型コロナウイルス感染症の影響により事業は実施していません。

収5	駐車場管理運営事業
----	-----------

新型コロナウイルス感染症の影響により施設の臨時休館や事業の中止が相次ぐ中で、収益事業として利益を確保するように追加警備の大幅な縮減など経費節減に努めました。

《事務局事業》

1. 石橋正二郎名誉市民顕彰会

世の人々の幸福と郷土の発展を願った石橋正二郎名誉市民の理念を広く伝え、これからのまちづくりを進めるために顕彰事業を実施しました。

(1) 会員の状況

2021年度会員 個人98人(112口) 法人68社(68口)

(2) 事業実施状況

①墓前祭

2021年9月10日(金)千栄禅寺 50人

②講演と展覧会見学会

2021年12月10日(金)30人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、2月に予定していた「ゆかりの地見学会」は中止。

2. 青木繁記念大賞ビエンナーレ

若手作家の飛躍を願う公募展として開催してきた「青木繁記念大賞西日本美術展」は、第6回展より事業名を「青木繁記念大賞ビエンナーレ」へと変更し、事務局としてこれまでの趣旨を継承しています。さらなる芸術の振興をめざして第7回展の実施に向けて作品募集を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため再延期としました。

Ⅲ 処務の概況

1. 役員に関する事項

2022年3月31日現在

役員	氏名	就任年月日	担当職務	現職
評議員	佐々木 康博	2021. 9. 22		株式会社ブリヂストン 九州生産部門長兼久留米工場長
	橋本 安彦	2011. 4. 1		久留米商工会議所副会頭
	内野 博夫	2021. 6. 29		久留米連合文化会会長
	絹笠 順一	2011. 4. 1		久留米文化推進協議会会長
	田中 功一	2021. 6. 29		久留米市議会議員
	早田 耕一郎	2021. 6. 29		久留米市議会議員
	松延 洋一	2021. 6. 29		久留米市議会議員
	井上 謙介	2020. 6. 24		久留米市教育長
	豊福 由紀子	2021. 6. 29		久留米市子ども未来部長
理事	檜原 利則	2013. 6. 20	理事長	久留米市美術館館長
	永田 見生	2017. 3. 1	副理事長	久留米大学理事長
	本村 康人	2013. 6. 20		久留米商工会議所会頭
	西嶋 大二	2015. 6. 23		公益財団法人石橋財団常務理事
	龍頭 宏典	2013. 6. 20		旭ゴルフ株式会社取締役社長
	甲斐田 義弘	2021. 6. 29		久留米市議会議員
	古賀 敏久	2022. 4. 14		久留米市議会議員
	中島 年隆	2021. 6. 29		久留米市副市長
	西村 信二	2021. 4. 1	常務理事	
監事	潮田 康之	2019. 4. 1		株式会社ブリヂストン久留米工場 工場企画管理課長
	大久保 隆	2021. 4. 1		久留米市会計管理者

2. 会議に関する事項

区分	年月日	議事事項	会議の結果
臨時評議員会 (みなし決議)	2021年 4月1日	第1号議案 理事1名の選任について	原案承認可決
		第2号議案 監事1名の選任について	原案承認可決
臨時理事会 (みなし決議)	2021年 4月1日	第1号議案 常務理事選定の件	原案承認可決
		第2号議案 事務局長の選任について	原案承認可決
第1回 定例理事会 (みなし決議)	2021年 6月5日	第1号議案 2020年度 事業報告並びに決算について	原案承認可決
		第2号議案 2020年度 定時評議員会の招集について	原案承認可決
		第3号議案 美術館事業実施積立資産の計画期間の延長について	原案承認可決
定時 評議員会 (みなし決議)	2021年 6月29日	第1号議案 2020年度 事業報告並びに決算について	原案承認可決
		第2号議案 評議員の選任について	原案承認可決
		第3号議案 任期満了に伴う理事9名の選任について	原案承認可決
		第4号議案 任期満了に伴う監事2名の選任について	原案承認可決
臨時理事会 (みなし決議)	2021年 6月29日	第1号議案 代表理事(理事長) 選定の件	原案承認可決
		第2号議案 副理事長選定の件	原案承認可決
		第3号議案 常務理事選定の件	原案承認可決
臨時理事会 (みなし決議)	2021年 9月10日	第1号議案 評議員会の招集について	原案承認可決
第1回 定例理事会 (みなし決議)	2020年 6月11日	第1号議案 2019年度 事業報告並びに決算について	原案承認可決
		第2号議案 2020年度 定時評議員会の招集について	原案承認可決
臨時評議員会 (みなし決議)	2022年 9月22日	第1号議案 評議員1名の選任について	原案承認可決
第2回 定例理事会	2022年 3月24日	第1号議案 2022年度事業計画並びに予算書等について	原案承認可決
		第2号議案 評議員会の招集について	原案承認可決

3. 許可・認可・承認に関する事項

なし

4. 届出・申請等に関する事項

年月日	項目	摘要
2021年6月20日	福岡県(電子申請)	理事1名、監事1名の辞任及び就任
2021年6月26日	法務局へ登記	2020年度事業報告等の提出
2021年8月13日	福岡県(電子申請)	役員変更の届出
2021年10月13日	福岡県(電子申請)	評議員1名の辞任及び就任
2022年2月15日	福岡県(電子申請)	理事1名の辞任
2022年3月30日	福岡県(電子申請)	2022年度事業計画書等の提出

5. 組織に関する事項

(2022年3月31日現在・常勤役員は含まず)

	一般職員	嘱託職員	市職員(派遣)
総務課	6 (内1名団体へ派遣)	1	
施設課	6	-	-
企画営業課	6	1	-
美術館総務課	2	1	-
学芸課	3	1	1
合計	24	4	1

※団体から
派遣受入1名

IV 附属明細書

2021年度の事業報告の附属明細書について、事業報告の内容を補足すべき重要な事項は存在しない。